新型コロナウイルスワクチン接種についての情報提供

コロナワクチンは人類に対して初めて使用される遺伝子ワクチンであり、まだ治験の途中で緊急使用されているため、効果や安全性の情報が不足しています。接種は強制ではありません。本人が希望する場合のみ接種が行われます。薬品の投与には必ずリスクが伴います。効果とリスクの双方を理解した上で、自らの意思で判断する必要があります。当院では患者様の健康を考え、最新の情報をご提供させて頂きます。判断材料としてご利用頂けると幸いです。

＜効果＞

・発症の予防および重症化の予防を期待（治験中のため効果は不明）

※あくまで発症の予防であり感染の予防効果は極めて低い（厚労省発表）

ｲｷﾞﾘｽは非接種者より2回接種者の方が約2倍感染率が高いというﾃﾞｰﾀを公表し、日本も同様の状況となっている

※政府はワクチン接種証明書を発行しているが、国内での運用は感染抑止効果が確認出来ないため中止。予防接種法では非接種者への差別は許されないとの付帯決議が成されている。

＜リスク＞

◎日本における副反応の疑い事例（R.3.2/17～R.3.12/24 厚労省発表）

・死亡報告　1431件　→　1444件に増加！！（R.4 .1/21）

※平成30年のインフルエンザワクチン接種後の死亡報告数3件

・副反応報告数　3万266件　→　3万714件に増加！（R.4 .1/21）

・重篤な副反応　6146件　→　6370件に増加！（R.4 .1/21）

心筋炎、脳血管障害、失明、ギランバレー症候群など

・2回以上の接種後90％以上に発熱、頭痛、強い倦怠感、関節痛など（これらの症状は報告義務がないため副反応件数に含まれていない）

◎アメリカの状況（2022.1.14時点　CDC等発表）　副反応報告数105万3828人

・死亡　2万2193人　・入院　11万8684人　・緊急ケア　11万3818人　・アナフィラキシー　8886人　・心筋炎　2万7674人　・流産　3692人

＜考察＞

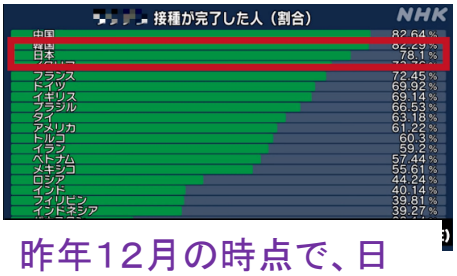
現在、感染が確認されたという人の殆どが2回接種済みで、3回目を接種した医療従事者も相次いで陽性となっている。予防効果は無いどころか感染しやすい状態になっていることが明白。接種者同士で感染を拡大させているのは間違いない。にも関わらず3回目の接種を勧める。7割以上が2回打てば元の生活に戻れると言っていたのに、今は3回目4回目は当たり前で、打っても感染予防は出来ないと言う。その上、3回目接種直後、すでに2人の死亡が厚労省に報告されている。打つメリットがあるとは微塵も思えない。重症化予防効果があると仮定するならば、不安を感じる人が打つという選択はやむを得ない。が、他人のため、社会のために打つ必要性は一切ない。事実を冷静に受け止め、自身にとって正しい選択をしてほしいと切に願う。

「子供への接種について」

先月、厚労省は5歳から11歳への遺伝子ワクチン接種を正式に承認しました。おそらく3月頃から接種が開始されると言われています。ご存じのこととは思いますが、人体に他の生物の遺伝子を注入するのは、歴史上初めてのことで、まだ**治験の途中**であり、長期的な安全性は何一つ示されてはいません。そんな物を10歳未満の健康な子供に投与するということが一体どういうことなのか、今一度冷静になってお考え頂きたいと思います。

まず、今回の遺伝子注射に**感染予防効果はありません**。2回接種しても3回接種しても感染し、感染させます。国内外のデータでそれは明らかであり、製薬会社も認めています。**打っても打たなくても感染する**のだから、子供が感染すると高齢者に移すという理由で接種させるのは理屈が通りません。

次に重症化が予防出来るということですが、日本において10歳未満の健康な子供がPCRで陽性となり**死亡した例は1つもありません**。重症化も殆どしていない。特に、オミクロン株の重症化率は大人でも相当低いので、**子供のリスクはゼロ**と言っても過言ではありません。よって、重症化予防のために子供に接種させる必要性はないのも明白。重症化予防が目的なのであれば、重症化するリスクがあると不安を感じている本人が、自身の判断で自身のために打てはいいだけのことです。



昨年12月の時点で、日本の接種率は世界第3位。なのに感染爆発。殆どの感染者が接種済み。感染予防効果は欠片もない！

先月25日に沖縄で、中長期の副作用が明らかではないとして、医師や保護者らの団体が**未成年への接種の停止**を求める要望書を県に提出しました。北海道では、10名を超える医師が「北海道有志医師の会」を結成し、国に対し**過剰なコロナ対策の見直しとワクチン接種の即時停止**を求めています。東北でも同様の動きがあり、有志の医師が集まりつつあります。すでに10代接種者の341人に重篤な副作用が確認されています。**長期的な治験は行われておりません**ので、数年後にどのような悪影響を及ぼすかわかりません。ワクチンは病人が打つのではなく、健康な人が打つものです。だからこそ**安全性が最も重要**なはずなのに、どれだけ疑われても「因果関係は不明」とし、その原因を調べない。「不明」と「無い」は違います。安全性が「不明」なものを10歳未満の子供に注射して良いと思いますか？まともな医師であれば、リスクしかないワクチンの接種を勧めるはずがありません。製薬会社から多額の謝礼を受け取っている自称専門家は「社会のために」などと言い子供への接種を勧めていますが、**感染予防効果のないワクチンを打っても社会のためにはなりません**。お子さん、お孫さんの健康、未来を考えて、冷静に最善の選択をして頂きたいと願います。

福島民報にワクチンの正しい情報を伝える意見広告が掲載 私も募金活動に協力しています。